

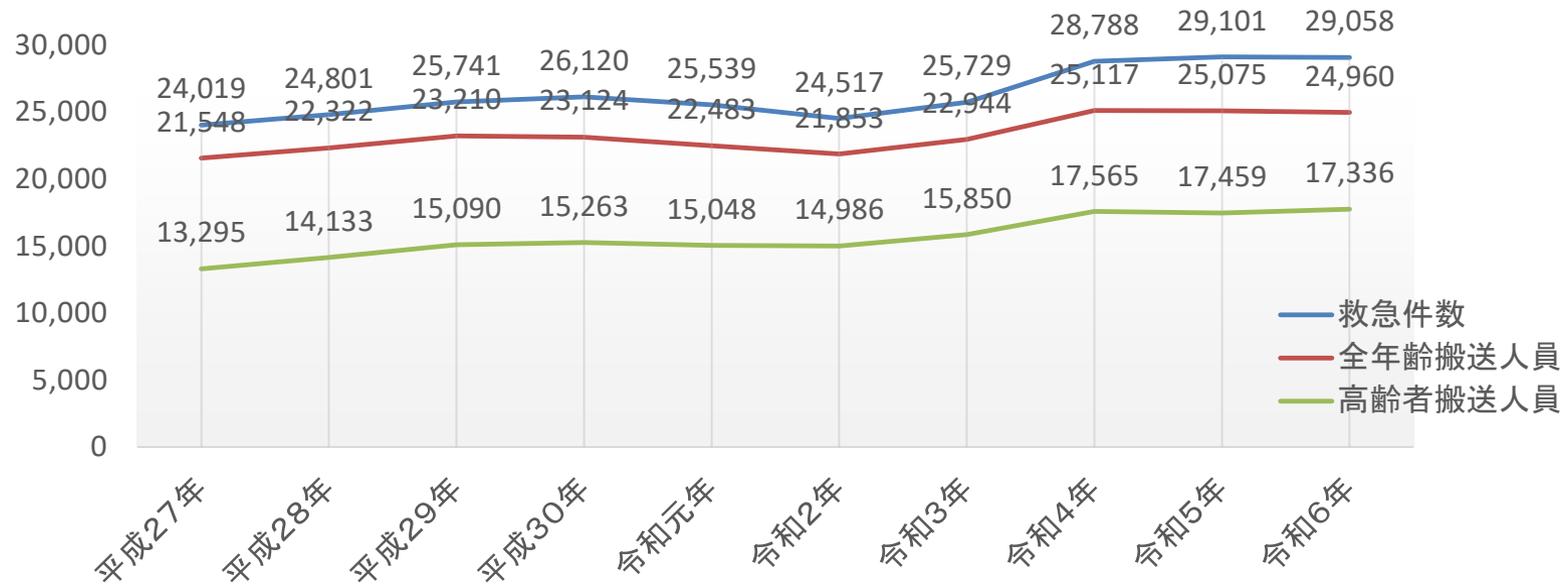
救急車要請時の対応について

長崎市消防局 指令課
TEL:095-822-0461(直通)

研修内容

- ・過去10年間の救急件数と高齢者救急傷病者数
- ・119番通報時の指令員とのやり取り(通報要領・要請時の対応・口頭指導)
- ・応急手当要領(胸骨圧迫、異物除去法、止血法等)
- ・事業所の方へのお願い
- ・#7119長崎県救急安心センター

過去10年間の救急件数と救急搬送人員(全年齢層)に占める高齢者搬送人員(65歳以上)



高齢化などの影響により全国的に救急件数は増加傾向にあり、全年齢層の搬送者数の約7割を占める高齢者への対応は喫緊の課題である。

119番通報時の指令員とのやりとり①(通報要領)

例) 急病の場合

★指令員が以下のようなことを聞きますので回答して下さい。



①「場所」⇒「〇〇市〇〇町〇番〇号」

②「施設名」⇒「〇〇施設」

③「どのような状態」⇒「急に〇〇歳の男が倒れました」

④「意識と呼吸」⇒「意識と呼吸はありません」

⑤「けが」⇒「けがはありません」

⑥「いつから」⇒「〇〇頃から」

⑦「症状」⇒「息苦しさがありません」

⑧「かかりつけ」⇒「〇〇医院、〇〇病院」

⑨「病歴」⇒「心疾患及び糖尿病」

⑩「搬送先の手配や情報提供をしていただくよう主治医へ連絡」⇒「わかりました」

⑪「意識と呼吸を確認し、必要があれば胸骨圧迫」⇒「わかりました」

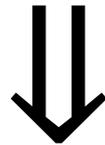
⑫「AEDの使用」⇒「わかりました」

⑬「あなたの名前」⇒「私は〇〇です」

⑭「あなたの職種」⇒「〇〇職です」

119番通報時の指令員とのやりとり②(要請時の対応)

契約している医師がいる場合は、搬送先病院を決めていただき、症状など事前に病院へ連絡をお願いします。



既往歴や症状などを、かかりつけ医師から搬送先病院へ連絡することで、傷病者を円滑に搬送することに繋がりますので、御協力をお願いします。

119番通報時の指令員とのやりとり③(口頭指導)

事業者の看護師、介護士の方が応急手当を行ってください。

看護・介護職以外の方で応急手当ができない場合は指令員が電話で要領を説明します。

【応急手当】

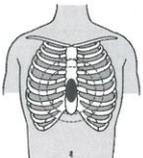
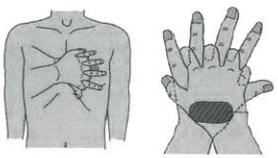
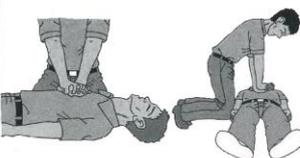
- ・ 胸骨圧迫
- ・ 気道異物除去法(窒息解除)
- ・ 止血法 等

応急手当要領

(1) 胸骨圧迫

③ 胸骨圧迫の実施

「普段どおりの呼吸」がない場合は心停止とみなし、胸骨圧迫から開始し胸骨圧迫 30 回と人工呼吸 2 回の組み合わせを速やかに開始する。

胸骨の圧迫位置	手の置き方	圧迫の仕方
		
胸の真ん中（左右の真ん中で、かつ、上下の真ん中）	一方の手のひらのつけねをあて、その手の上にもう一方の手を重ねる。	肘をまっすぐ伸ばし、垂直に体重をかける。体重は手のひらの付け根だけにかけ圧迫する。圧迫解除時は、胸が元の位置に戻るように十分に圧迫を解除する。

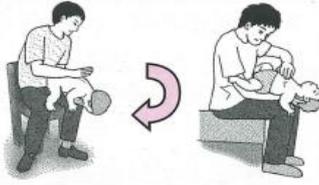
・交代可能な場合には、たとえ実施者が疲れを感じていない場合でも、1～2 分間を目安に交代することが望ましいが、交代による中断時間をできるだけ短くする。

対象	圧迫の部位	圧迫の方法	圧迫の程度	圧迫の速さ
成人	胸の真ん中	両手で	約5cm (6cm以上 圧迫しない)	100～120 回/分

(2) 異物除去法・止血法等

Ⅲ. 異物の除去

① 反応がある場合の異物除去

成人・小児	乳児・新生児
	
腹部突き上げ法	背部叩打法
<ul style="list-style-type: none"> 強い咳ができる場合は、傷病者本人の努力に任せる。 異物が取れるか反応がなくなるまで、2つの方法を数度ずつ繰り返して続ける。 妊娠していると思われる女性や高度な肥満者に腹部突き上げは行わず、背部叩打のみを行う。 腹部突き上げ法を実施した場合は、腹部の内臓をいためる可能性から、医師の診察を受ける。 	<ul style="list-style-type: none"> 気道異物による窒息と判断した場合は、ただちに119番通報（緊急通報）を誰かに依頼した後に、頭部を下げて、背部叩打や胸部突き上げを実施する。 腹部突き上げは行わない。 異物が取れるか反応がなくなるまで、2つの方法を数度ずつ繰り返して続ける。

② 反応がない場合の異物除去

○反応がなくなった場合は、まだ通報していなければ119番通報し、心停止に対して行う心肺蘇生法の手順を開始する。

○心肺蘇生を行っている途中で異物が見えた場合は、それを取り除くが、見えない場合には、やみくもに口の中に指をいれて探らない。また、異物を探すために胸骨圧迫を長く中断しない。

Ⅳ. ファーストエイド(傷病者の体位と移動)



救急隊が到着するまでは、傷病者が望む姿勢にして安静を保ちます。車が通る路上など危険な場所にいる場合は、安全な場所に移動させます。反応はないが普段どおりの呼吸がある場合は、横向きに寝た姿勢(回復体位)にして、気道を確保します。

Ⅴ. ファーストエイド(大出血時の止血法)



きれいなハンカチなどを重ねて傷口に当て、手で圧迫する。直接血液に触れないようにするために、ビニール袋などを利用し、救助者の手を保護する。

事業所の方へのお願い

(救急隊に渡す情報提供書の事前作成について)

近年、高齢者施設からの救急要請が多くなっています。そこで、施設職員の方と救急隊が円滑に情報共有できるように情報提供書というものがあります。施設利用者の方を少しでも早く病院へ搬送するため、次のQRコードを読み込み、フローチャートの確認と情報提供書の事前作成に御協力をお願いします。



#7119長崎県救急安心センター



本当に必要とする人のために
救急車の**適正利用**にご協力
ください!!

救急安心センター

7 1 1 9

または ⇒ ☎095-801-1217

- ・救急車を呼んだほうがいいかな？
- ・今すぐ病院へ行くほうがいいかな？
- ・どこの病院へ行けばいいかな？

24時間365日

- ・医師や看護師がアドバイス
- ・医療機関も案内
- ・全年齢で相談可

通話料は自己負担になります。

これまで病院のお問い合わせに対応していた
長崎市救急医療機関案内（☎095-825-8199）は
終了となりましたので「#7119」または
「095-801-1217」におかけください。



NAGASAKI
FIRE
DEPARTMENT

長崎市消防局 指令課
095-822-0461



令和6年8月1日から#7119
長崎県救急安心センターが開始
されました。

これは、急な病気や怪我の相談に
医師や看護師が電話で24時間
365日対応しています。

また、夜間や休日の医療機関の案内も実施しています。